

表1 キリル文字一覧

字母	音価	名称	数字価	ギリシア文字(数字価)
А	a	azŭ	1	A (1)
Б	b	buky		
В	v	vědě	2	B (2)
Г	g	glagoli	3	Γ (3)
Д	d	dobro	4	Δ (4)
Е	e, je	estŭ	5	E (5)
Ж	ž	živěte		
З, Ѵ, ꙶ	dz, z	dzělo	6	[ F (6) ]
З, ꙶ	z	zemlja	7	Z (7)
И	i	iže	8	H (8)
І	i	i	10	I (10)
К	k	kako	20	K (20)
Л	l	ljudiže	30	Λ (30)
М	m	myslite	40	M (40)
Н	n	našŭ	50	N (50)
О	o	onŭ	70	O (70)
П	p	pokoi	80	Π (80)
Р	r	rŭci	100	P (100)
С	s	slovo	200	C, Σ (200)
Т	t	tvriĉdo	300	T (300)
У, Ѹ, Ѹ	u	ukŭ	(400)	Υ (400)
Ф	f	frŭtŭ	500	Φ (500)
Х	x	xerŭ	600	X (600)
Ω	o	otŭ	800	Ω (800)
Ш	š	ša		
Ц	c	ci	900	
Ч, Ѹ	č	črŭvŭ	90	
Щ	št	šta		
Ъ	ŭ	jerŭ		
Ь	ŷ	jerŷ		
Ѣ	ě	jatŷ		
Ю	ju	ju		
Ѡ	o	osŭ		
ѡ	jo	josŭ		
Ѣ, Ѥ, Ѥ	e	ešŭ	(900)	
Ѧ	je	ješŭ		
ѧ	ja	ja		
Ѩ	je	je		
Ы	y	jery		
Ѯ	i	ižica	400	
Ѱ	f	fita	9	Θ (9)
Ѳ	ks	ksi	60	Ξ (60)
Ѵ	ps	psi	700	Ψ (700)
Ѷ	—	(koppa)	(90)	Ϙ (90)
Ѹ	—	(sampi)	(900)	Ϡ (900)

これをキリロス・メソディオス兄弟の所産とする一方、キリル文字アルファベットは、より後代にグラゴル文字の体系をギリシア文字ウンキアリス体に引き写すやりかたで新しく作り直されたもの、とする見方に立っている。そして、その時期と場所については、9世紀末にブルガリアのシメオン(Симеон)皇帝治世下の首都プレスラフ(Преслав)で始まったとする説がある。これについては、後で詳しく述べることにする。

【アルファベットの構成】 確実な資料がないために、成立の当初の字数や順序の復元は困難であるが、中世の諸スラヴ語のキリル文字テキストに至るその使用例を総合すれば、表1のように最大限45文字に達する。表音式のアルファベットで、主として単音を表わすが、štのような子音結合や、一連のイオタ化母音(ja, jeなどのように前に半母音[j]を伴うもの)のような音節を表わすものもある。また、その中には、ギリシア字母の例に倣って数字価としてのみ用いた koppa (Ϙ)や sampi (Ϡ)のような古いものも含まれる。

9~10世紀のビザンチン帝国時代のギリシア語アルファベット24文字のすべてが、ほぼそのままの音価を表わす字母として用いられるが、Θ, Ξ(ξ), Υ, Ψはギリシア語から借用した語彙や固有名に限り用いられる。

Ϙ ОМА 「フォマー(人名)」、Ϡ АЛЕКСАНДРЪ 「アレクサンドル(人名)」、Ϡ ВПЛОКРИТЬ 「偽善者」、Ϡ ПСАМЪ 「聖詠」、など。

一方、ギリシア文字にないスラヴ語特有の音声に対応する文字は、いろいろな工夫の跡を反映しているが、ギリシア文字の字体や書法の模倣・応用によるものとしては В, З, У(у), Ю(ю)など、グラゴル文字と同形のものとしては Ш, グラゴル文字の変形と表記原理の模倣の例としては Щ, Ъ, Ь, Ы, У, Ѧ, ѧなどが、そして、それ以外の起源不明のものとしては Ж, Ц, Ч, Ѣがあげられる(Уは、すでにグラゴル文字でギリシア語式の連字で示されている)。

キリル文字アルファベットの文字順は、まずグラゴル文字との対応によって配列し、余りの部分はその後に適当にまとめて示す習慣である。それは、グラゴル文字の場合、それぞれの字母の表わす数字価により、当初の文字順の復元がかなり精密に行なわれうるのに対し、キリル文字の体系は、数字価についてはまったくギリシア語のアルファベットに従っており、文字順の決め手を欠いているからである。(グラゴル文字との対応については、「グラゴル文字」の項の表を参照)

【グラゴル文字との体系上の異同】 キリル文字の母音体系の根幹は、グラゴル文字のそれと一致している。すなわち、i, e, ě, a, o, y, uの7口腔母音と、e, oの2鼻母音、および、ŭ, ŷの2弱化母音に対応する文字をもっている。しかし、表記レベルの文字面の違い